



上神明だより

【5月号】

令和2年5月7日

品川区立上神明小学校

校長 松崎 行雄

今後の家庭学習課題の方針

校長 松崎 行雄

学校が臨時休業中に、全ご家庭との電話連絡を実施いたしました。ご協力ありがとうございました。お子様の健康状態とご家庭での生活の様子を聞くことができました。子どもたちは、元気に過ごしていることが分かり安心いたしました。運動不足からか、少し夜型の生活になりがちなお子もいたようです。

保護者の皆様のご心配事を伺うと、「学習の遅れが不安です。」という声が聞かれました。実は、私たちもそこを気にかけています。現下の状況ですから、感染リスクが収まるまでは、宿泊行事や校外学習、連合行事、公開行事等の学校行事は、控えざるを得ません。しかし、子どもたちの将来のためにも、各教科の学習内容は、何があっても確実に習得させなくてはなりません。従って、学校で正規の授業ができなくとも、**今後は、「その学年の学習内容を進める」ことを基本とした家庭学習の内容に切り替えていきます。**

ところで、電話連絡の際に確かめたところ、家庭のネット環境については、次の通りでした。

○ノートPCやタブレットなどネットにつながるパソコンがあるご家庭が9割。

○使える状態のプリンターがあるご家庭が5割。

その実態も踏まえて、1組については、次の方法で家庭学習の課題を提示することにします。

- (1) 1週間分のプリントを綴じた冊子状態で毎週お渡しする。
- (2) 答え合わせは家庭で行うが、1週間後に学校に提出し、次の冊子を受け取る。
- (3) お子様と保護者それぞれに簡単な「振り返り記入欄」を付ける。
- (4) 引き続き、テレビや学び支援サイトや動画サイトも可能な範囲でご活用いただく。

冊子状態でお渡しする意図は、2つあります。1つ目は、ご家庭でのダウンロードや印刷等のご負担を軽減するためです。2つ目は、形状をオールインワン状態にして、担任が学習状況や成果を的確に把握するためです。さらに、保護者の皆様に「振り返り記入欄」にご記入いただいて、定着が不十分であったお子様を担任が一層確実に把握します。定着が不十分なお子様には、登校日等にしっかりと補習をしたり、学校での授業が再開したら、一斉授業で教え直したりする予定です。ですから、定着に不安がありましたら、遠慮なくご記入ください。

ほほえみ学級の家庭学習の課題については、個別指導計画の項目に沿って、一人一人の取組課題を示します。学習のみならず、生活面でも取り組んでいただく内容をお示しします。

1組もほほえみ学級も、大切なポイントがあります。お子様に丁寧に取り組ませることで、字を丁寧に書かせて、じっくりと取り組ませてください。**特に自習的な課題は、取り組み方が雑か丁寧かで、習得の度合いが大きく変わります。**休業が継続しても、分散登校期間であっても、お子様の学習は、しっかりと成立させたいです。ご協力をよろしくお願いいたします。